

第9回久御山町水道事業検討委員会 議事要旨

日 時	令和元年7月31日（水） 10：00～11:15
場 所	久御山町議会棟4階特別会議室
次 第	<p>会議</p> <p>1 開会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>3 委員長あいさつ</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 第8回会議の概要</p> <p>(2) 提言（案）について</p> <p>5 閉会あいさつ</p> <p>6 閉会</p>
出席者	<p>（委員）</p> <p>西垣委員長、松若委員、片岡委員、水野委員、谷口委員</p> <p>欠席：中川委員</p> <p>（事務局）</p> <p>信貴町長、中村副町長、岡本事業建設部長、樋口上下水道課長、川越課長補佐、奥田課長補佐、高山課長補佐、岩上係長</p>

会議

1 開会

2 町長あいさつ

- ・昨年9月に設置した当委員会だが、今回で9回目の開催となる。
- ・昨年度は「水道事業経営戦略策定」について、今年度は「水道事業の経営に関すること」について、本町の水道事業が抱える経営課題について活発な議論を重ねていただいた。
- ・毎回、議事録等を拝見し、本当に多岐にわたる観点から議論を重ねていただいたことに、心から感謝を申し上げます。
- ・現在、検討いただいている「水道事業の経営に関すること」について、審議後には、委員会の設置趣旨にもあるとおり、本町に対して、ご提言をお願いしたい。
- ・本町の水道事業は、平成30年度決算において、昭和43年の事業開始以来、初めて欠損金を計上する見込みであり、令和元年度以降も赤字が見込まれることから、経営環境は更に厳しい状況になると予想されている。
- ・そのような状況の中であるため、提言いただく内容については、できる限り早急に対応すべき課題もあると思う。
- ・町民生活や町内企業の活動に必要な水道水の持続的、安定的な供給を行うため、そうした課題に鋭意取り組んでいきたい。

3 委員長あいさつ

- ・日本は、水道には大変恵まれた国で、もちろん水不足が生じるようなところもあるが、押し並べて水道の供給は安定的にできる。世界を見ても、このような国はそうは多くない。
- ・例えばオーストラリアなどでは、環境保全のために仕方がないことではあるが、夏には車を洗うことが禁止されている。
- ・本委員会も昨年の9月に始めて、久御山町の水道施設等の今後の将来にわたる更新について、秋から議論いただき、今年に入ってから、資金確保のための経営的な課題、料金のあり方について議論を重ねていただいた。
- ・将来に向けての客観的な議論、料金改定に向けての積極的な意見をいただいたが、いよいよ議論も総まとめとなる。

【町長退席】

【資料確認】

4 議題

(1) 第8回会議の概要

－第8回会議の概要について事務局説明－

(2) 提言（案）について

－提言（案）について事務局説明－

委員長

- ・議論が散漫にならないよう、順を追って2つに分けて、まずは第8回会議の概要、検討結果の概要について議論いただいた上で、次に提言案について議論いただきたい。
- ・前回の第3案を中心に調整し、料金改定最終案とした。基本料金と従量料金との割合が、だいたい30%と70%という比率で、若干30%に近づいた。
- ・その結果、用途別に見ると、家事用のところでは改定率が第3案より若干低めになった。
- ・営業用の中で、口径が大きいところが少し高めに出ているが、使用量の多寡という個別事情にもよる。
- ・家事用全体の改定率も24%以下となった。
- ・基本料金の割合の件については、これから使用量が減っていくにつれて、やはり安定的に取れる基本料金で取るという考え方は、今後とも継続していくべきである。
- ・口径20mm、使用量20m³のところだいたい22%となり、24%を少し下回ることができている。

委員

- ・これを議会に出すのか。

事務局

- ・町長あてに委員長名で、提言として賜るということ。
- ・行政としては、提言を尊重させていただき、今後は議会に対し、条例の一部改正という形で上程させていただくというふうな流れとなる。
- ・加えて言うならば、各有識者の方々、住民公募で手を挙げていただいた委員、皆様のお答えであるということ、その時々には説明させていただくこととなる。

委員長

- ・特にその件に関しては、提言の文章の一番最後が附帯意見ということで、今後の運営に当たってこの委員会として、こういうことに気を付けてほしいということがまとめられているが、ここの中でなにか追加や変更を出していただきたい。
- ・附帯意見の1の使用者に向けた広報の充実というところで、この委員会を出していただいた資料と、ここで議論したようなことを、住民にもわかりやすく伝えていただきたい。
- ・もう1つは、今後の久御山町の水道の資産を、更新投資をして、安心、安全な水の供給に努めるということが趣旨であるため、広報の充実にもあるが、料金改定によって住民にどんなメリットがあるのか、水道供給の安心、安全がいかに高まるかということ、わかりやすく伝えていただきたい。

委員

- ・水道料金の改定についてのAの料金算定方法について、資産維持費を算入すると大幅な料金改定となる恐れがあるため、今回の改定では算入を見送るとあるが、将来的には必ず見直さないといけないということを書くべきである。
- ・この委員会で、近隣市町村との兼ね合いや、将来、水道事業が広域化される可能性があるということ、やはり今ここで口径別にする必要があるということ、をすごく感じたが、この提言からはそれが読み取れない。

委員長

- ・とても良い指摘をいただいている。
- ・周知の仕方として、面白いことをしているところでは、利き水をしている。久御山町の水は、同じ水源を、大手飲料メーカーが使っているくらいで、大変おいしい水だと思うので、町民イベントの時にブースを作って、利き水大会をするなども面白いのではないかな。

委員

- ・現役の時にそういうことをしたこともあるが、同じ温度で冷やせば分かる人は少ない。かたやペットボトルの水は100円、町水は100円出せばトラックで積んで帰らないといけない。

委員長

- ・提言案の別表で、11 m³から20 m³までの従量料金が145円、ペットボトルで売っている人気の高いフランス製の水と同じ料金くらい。フランス製の水は500ccだが、町水は1,000Lだという説明をされる。利き水をした後だと大変有効。

委員

- ・広報に努めていただいて、十分に理解いただくように、よろしく願いしたい。

委員長

- ・このような委員会の中で、住民や産業界の方に参加いただき、意見を出していただくことは、水道を運営している事務局についても、大変参考になる。
- ・料金や今後の更新投資のあり方など、政策に関することに町民の方に参加いただくことは、これから先、少子化が進んで、更新投資等がいよいよ問題となってくる中では、本当に欠くべからざることだと思う。

委員

- ・水道料金の改定がもっとも優先度が高いことであるが、それ以外の基本料金減免制度や開栓手数料についても、要検討のまま終わるのではなく、どこかで議論して結論が出るような形に持っていくことが大事である。
- ・料金改定は、本当に影響が大きいので、説明は非常に大事な部分であるが、ケの実施時期にもあるように、累積欠損金を計上するというのは、企業においては非常に重要な事象であり、放置はできない。特に地方公営企業であれば、やはり料金をもって改善していかなければいけないという、そういう逼迫したところまできているということを、いかに町民の方々と共有できるかがポイントになる。
- ・これ以上欠損金が拡大すれば、結局将来世代への負担の先延ばしに過ぎないというところであり、累積欠損金を計上するというのは、非常に大きなターニングポイントに来ている。こういう状態にあるということを、なるべく伝わるように検討いただきたい。

委員長

- ・累積欠損金を早期に無くすということ、企業債残高、さらにはそれにも関連するが資産維持費の今後の検討、それを含めて、将来世代に負担をできるだけ残さないということ。附帯意見の中に、将来世代への負担をできるだけ先送りしないということ、追記していただきたい。
- ・各自治体とも、ひとまちしごと創生戦略の第一期の集約期にあると思うが、久御山町の人口減少は、当初予想したよりゆっくりのペースで進んでいるのではないかと。

事務局

- ・具体的な数字は浮かんでいないが、想定の域内だと思っている。

委員長

- ・2013年、14年と若干経済の調子も戻しており、自分の住んでいる町で、ひとまちしごと創生戦略の懇談会の座長をしているが、当初考えていた人口減少よりは、若干遅めになっている。
- ・この前、新聞発表にもあったが、確かに日本人の数は減っているが、外国人居住者の数は増えている。
- ・今後の進み方というのは、必ずしも2000年の初めと、今考えていることとは違うというふうに思う。
- ・そのようなことも踏まえると、やはり社会資本の維持ということは大変大事になり、都市機能の社会資本の中でも、水道事業というのは本当に一番大事な根幹であるので、今後事業が大幅に減るといようなことばかりではなく、やはり安心、安全ということも踏まえながら、十分に検討していただきたい。
- ・今後のあり方も踏まえて、水道事業についても、長期的なビジョンを持って整備し

ていくという、今回の料金改定は、まさにそのステップになると思う。

事務局

- ・事務的な整理として、ご意見いただいた分を、事務局でもう一度整理をし、委員長と調整させていただいた上、各委員にご確認いただき、再度委員長と調整して、提言という形にさせていただきたい。

委員長

- ・そのような進め方でよいか。

各委員

- ・はい。

委員長

- ・議論も一段落したので、一言ずつこの委員会の感想をいただきたい。

委員

- ・いつもどんな議論になるのかと思っていたが、皆さんいろんな意見をお持ちで、それがまた1つの意見にまとまり、次の資料になるという形で、本当に1つ1つ駒を進めてここまで来たという印象を持っている。
- ・水道事業は、今、民営化などホットな話題があり、人口減の話、外国人労働者の話、たぶんA Iとの兼ね合いなど、いろんな将来の可能性を秘めた事業である。
- ・絶対になくてはならない事業で、各地方公共団体に絶対にある事業というところで、この面白い事業にこの1年間、関わらせていただいたことに感謝している。

委員

- ・私の現役の時は、水の使用量も右肩上がりで、こういう大口の水が少なくなっていくということは想定していなかった時代で仕事をしており、水が減ってきているということは想像もつかなかったという思い。
- ・今後については、大口使用者にどういう形で使っていただけるのかという方面で、またご尽力いただきたい。
- ・最後に、水道事業は独立採算制なので、また町も、子供の会社ですので、できるだけそちらの方も力を入れていただきたい。

委員

- ・非常に良い経験をさせていただいた。
- ・宇治から久御山に通う途中で、今、府営水道が水道管の入れ替え作業をしているが、今まで気にもしなかったが、通る度に見ながら来るようになった。

委員

- ・水道事業だけではなく、今の公共サービスのあり方や、長い間の高度成長のそのままの感じで、行政サービスが当たり前と思っている自分達というのを、改めて本当に恥ずかしいと思っている。
- ・内容が分かれば、みんなしなければならないと町民も思うと思う。
- ・やってもらって当たり前とか、それが行政サービスの仕事でしようではなく、それを支えるためにはどんなに大変かということ、今回分らせていただいた。

委員長

- ・京都府営水道の中でも、宇治地域は、一番最初に整備され、低廉な施設を長い間使

いながら、減価償却費等も非常に安く済んでいたという状況であったが、ちょうど久御山町と同じように、今大きな更新投資が必要となっていて、後でできた乙訓地域、木津地域と、資本負担の費用が同じくらいになってきているという状況である。

- ・料金統一も含めて、京都府の用水供給でも、受水市町の方々には、ちょっと高い負担を求めているかなくてはならない。
- ・使用料金については、前期から共通としてやってきたが、基本料金についても、京都府営水道を維持更新していく協力体制が取りやすいようにということで、料金統一をお願いしたいということがこれから決まって、お願いするということになる。
- ・それに従い、宇治地域には、ちょっと高い負担をお願いすることになるということもあり、この料金改定の中にはそれも若干折り込みつつ、算定していただいている。
- ・京都府営水道との用水供給の基本契約に当たっての契約水量である、建設負担水量について、高度成長期に設定されたものであり、現行の使用量とはかけ離れたところがあるが、若干足りないところもある。
- ・今回、料金統一がなされれば、建設負担水量の見直しの議論が始まると、委員の中でも期待しており、京都府にもお願いしている。
- ・この24%というのが、久御山町の水道の運営について、非常に大きな一歩であるということ、自信を持って言えると思う。

5 閉会あいさつ

一副町長閉会あいさつ

- ・冒頭、委員長からオーストラリアの夏の水の話があったが、巨椋池のところは、久御山町も水との戦いの歴史があり、その上に今、二刀流と言っているが、久御山町の農業とものづくりがある。
- ・農業の面では、九条ねぎ、淀苗、淀大根、昨年は、久御山のお米を使って、新しく久御山のお酒も造り、夢酒くみやまということで、イオン久御山店の方で売り出している。是非そういったものをお買い求めいただき、味わっていただきたい。
- ・ものづくりの面では、1,600の事業所があり、議論いただいた中にもあったように、大切な水を使って産業が潤っているということになる。
- ・新しいまちづくりも進めており、ジャンクションの北側、1号線との間辺り、モタレの東地区、三菱食品という大きな企業が来る予定であり、1,000人ほどの従業員が今後働かれるということで、今募集もされている。秋以降にこちらも稼働してくるのではないかという動きがある。
- ・また、久御山高校の周辺、林、市田、佐古地区辺りに、新しく市街地を整備、新しく土地利用を動かしていこうということで、今取り組みを進めている。
- ・また、西ノ口のところでは、医療福祉ゾーンということで、岡本記念病院がある南側にも、特別養護老人ホームを作ろうとしている。
- ・こうしたまちづくりを進めていくために、やはりベースとなる水道事業というのは、本当に大切なものである。
- ・高齢者の方、子育て世代の方、そして働く若者世代の方、全ての方が、誰もが居場所

を持って、生き生きと生活できるようなまちづくりを目指して、今後もやっていきたいと考えている。

- ・水道料金の改定の最終的な提言、水道事業の安定的な経営というのは、そういったまちづくりに本当に大切なものとなるので、皆様方にいただいた意見を踏まえ、しっかりと町政に活かしていきたい。

6 閉会

以 上